

1. 学校教育目標

郷土を愛し、共に学び、心豊かでたくましく未来を生き抜く子どもの育成

【めざす児童像】

【郷土を愛し】

- 校区をはじめ柳川市のひと・もの・ことに主体的に働きかける子
- 故郷を誇りに思い、愛着を持つ子

【共に学ぶ】

- 意欲的に学び続け、自分の伸びを実感できる子
- 他者とかかわりながら、自他共に高めようとする子

【心豊か】

- 自他のよさを認め合い、自他への優しさと思いやりを持つ子
- 真理や正しさを求め、いじめをしない、させない心、自然を愛する心を持つ子

【たくましく未来を生き抜く】

- 将来の夢や希望をもって、諦めないで粘り強く取り組む子
- 明るく、元気よく友だちと外遊びなどをし、自ら心身を鍛える子

2. めざす学校像、教師像

①めざす学校像

- 明るい挨拶が響き合い、つながり、自分らしく主体的に、諦めないで学び続ける学校
(児童が主役)
- 目標に向かって「実践→評価→改善」のサイクルが機能し、成長を実感できる学校
(成果をあげる)
- 安全・安心な教育環境が整い、保護者・地域とつながり、感謝の思いを持ち、信頼関係を築く学校
(地域と共に)

②めざす教師像

- 子どもに学び、よさや伸びを見つけ、認め、安心と自信をもたせる学級経営を推進する使命感と熱意ある教師
『児童理解』
- 日常授業力(教育課程経営力)の向上をめざし、謙虚に学び続ける教師
『自己研鑽』
- リーダーシップとメンバーシップを発揮し、組織的な職務遂行に努める教師
『協働力』
- 自他のウエルビーイングを尊重する教師(教師としての魅力・やりがい)
『幸せ』

3. めざす授業像

自分のめあてにむかって、粘り強く挑戦する子どもの育成

自分のめあて

- 課題に自ら働きかける
- 何を、どのように学ぶか自分で考え、自分でめあてを決めて取り組む

粘り強く

- 自分の思いや考え(分からないこと・困っていること・迷っていること)を言葉に出すことができる
- 試行錯誤しながら、考え続ける

子どもの育成

- 失敗をおそれず、あきらめないで取り組み続ける
- 「やってみたい」「やってみよう」「わкаろう」「何とかしよう」「なるほど」「次は、こうしてみたい」

○子どもが解決したいと感じる課題設定の工夫・自分の思いや考えを出し合う場の設定

- (1)子どもが自分でめあてをつくるために、「やってみたい」「できそうだ」絶対にできるようになりたい」などの意欲を向上できる課題を設定する。
- (2)自分の思いや考え(できるようになったこと・分からないこと・困っていること・迷っていることなど)を出し合い、友だちと新たな考えを作り出していく場を設定する。
- (3)単位時間または単元終末に「学びの振り返り」を位置づけ自己調整に活かす。
- (4)個別最適な学びを効果的にするとともに、その過程で協働的な学びを促すICT活用(タブレット・電子黒板)学習過程の工夫を行う。

○集団づくりで安心して発言・行動できるように

【重点行事】学校全体で取り組む。自己肯定感の向上

- 重点行事(運動会・垂見まつり・スポーツ大会において、キャリアパスポートを活用し、日々の成長を記録し、成果やその過程を認め、褒め、価値づける。

【集団づくり】(子ども一人一人が対等で、大切な存在であることを示す)

- 学級と個人のゴール」を共有、主体的な集団の質を高めていく。

【雰囲気づくり】(教師が明るく、笑顔で、前向きに、共感し、時には厳しく)

- 肯定的で前向きな反応を返す ※受け入れる聴く態度と良さを見つける態度
- リーダーシップを発揮できる役割をたくさん与える
- チャレンジ＆失敗、助けを求めるのは当たり前の日常 ※挑戦と失敗は宝

【関係づくり】(子どもへの愛を基盤とし、よさを認め、方向性を示す)

- 「教師と子ども」「教師と集団」「子ども同士」の関係作り